

令和〇年〇月〇日

坂出市農業委員会会長 様

主たる事務所の所在地 坂出市〇〇町〇〇番地  
名称及び代表者氏名 株式会社〇〇〇  
代表取締役〇〇

下記のとおり農地法第6条第1項の規定に基づき報告します。

## 記

## 1 法人の概要

法人の名称及び代表者の氏名	株式会社〇〇 代表取締役〇〇	
主たる事務所の所在地	坂出市〇〇町〇〇番地	
経営面積 (ha)	所有農地の有無	有・無
	田	〇〇ha
	畑	〇〇ha
	採草放牧地	〇〇ha
法人形態	株式会社、農事組合法人等	

## 2 農地法第2条第3項第1号関係

## (1) 事業の種類

区分	農業		左記農業に該当しない事業の内容
	生産する農畜産物	関連事業等の内容	
実績	水稻 ブロッコリー等	農作業受託 直売所等	金属製品製造業
翌事業年度の計画	〃	〃	〃

粗収益の50%を超えると認められるものの作目を記載。  
50%を超えるものがない場合は、粗収益の多いものから順に3つ記載。

## (2) 売上高

年度	農業	左記農業に該当しない事業
報告対象年度の2年前(実績)	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
報告対象年度の1年前(実績)	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
報告対象年度(実績)	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
翌事業年度の計画	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円	〇〇,〇〇〇,〇〇〇円

3 農地法第2条第3項第2号関係

構成員全ての状況

(1) 農業関係者(権利提供者、常時従事者、農作業委託者、農地中間管理機構、地方公共団体、農業協同組合、投資円滑化法に基づく承認会社等)

氏名又は名称	住所又は主たる事業所の所在地	国籍等		議決権の数	構成員が個人の場合は以下のいずれかの状況				
		在留資格又は特別永住者	農地の提供面積(m <sup>2</sup> )		農業への年間従事日数		農作業委託の内容		
			権利の種類		面積	直近実績		見込み	
坂出太郎	坂出市○町 □番地	日本		50	使用貸借権	5000 m <sup>2</sup>	300	300	
坂出花子	坂出市○町 □番地	日本		30	—	—	300	300	

構成員とは、株主、組合員等のことを指す。  
 (1) は農業への年間従事日数が150日以上者を記載。  
 (2) は農業へ従事していない構成員を記載。

議決権の数の合計

80

農業関係者の議決権の割合 (%)

80%

その法人の行う農業に必要な年間総労働日数 :

600日

合計を記載

(2) 農業関係者以外の者 ( (1) 以外の者)

氏名又は名称	住所又は主たる事務所の所在地	国籍等	在留資格又は特別永住者	議決権の数
Agri Sakaide	坂出市○町□番地	▲▲▲	特定技能等	20

議決権の数の合計

20

農業関係者の議決権の割合 (%)

20%

(留意事項)

構成員であることを証する書面として、組合員名簿又は株主名簿の写しを添付してください。

なお、農業法人に対する投資の円滑化に関する特別措置法(平成14年法律第52号)第5条に規定する承認会社を構成員とする農地所有適格法人である場合には、「その構成員が承認会社であることを証する書面」及び「その構成員の株主名簿の写し」を添付してください。

4 農地法第2条第3項第3号及び第4号関係

(1) 理事、取締役又は業務を執行する役員全ての農業への従事状況

氏名	住所	国籍等	在留資格又は 特別永住者	農業への年間従事日数			
				直近実績		見込み	
				直近実績	見込み	直近実績	見込み
坂出 太郎 坂出 花子 Agri Sakaide	坂出市〇〇町〇番地 坂出市〇〇町〇番地 坂出市〇〇町〇番地	日本 日本 ▲▲▲	—	300	300	200	200
			—	300	300	200	200
			特定技能等	0	0	0	0
				実際に農地で耕作している日数を記載。 60日以上の方が1名以上必要。		実際に農地で耕作している日数を記載。 60日以上の方が1名以上必要。	

(2) 重要な使用人の農業への従事状況

氏名	住所	国籍等	在留資格又は 特別永住者	農業への年間従事日数			
				直近実績		見込み	
				直近実績	見込み	直近実績	見込み
この欄は、理事等のうち、農業の従事日数が150日以上かつ、実際に耕作している日数が60日以上の方がいない場合に記載してください。							